第 1 章　研修の概要

1-1　研修の目的

本研修は、地球環境保全の視点を持ち国際協力に貢献できる人材の育成に資することを目的として実施した。具体的には、参加者の皆様が「開発途上地域における NGO による環境保全活動の実践体験」を重ね、「開発途上地域における開発と環境問題、地域ニーズ」について考察を深め、現地で活動を行っている「NGO が抱える活動の課題および対応」への提案を自らが導き出せることを目指した。

東南アジアの中でもタイ王国（タイ）およびカンボジア王国（カンボジア）では農業が主要産業だが、近年、自給自足型農業から輸出志向型農業へ変貌するに伴い、農業生産性を高めるための化学肥料および農薬の大量使用が深刻な環境問題を引き起こしている。このような農村域の多くでは貧困が深刻な状況にあり、化学肥料および農薬の大量購入が農家の家計を圧迫している。

本研修ではこのような様々な環境問題を抱えるタイおよびカンボジアにおいて、参加者が「現地農家による作物残渣の火入れ削減をめざした堆肥づくりの普及活動」、「農村域の初等教育における環境教育の推進活動」、「被災地域における植林活動」等の実践体験を経験し、地球環境保全に向けた国際協力における実施者としての能力を開化し、様々な局面で主体的に問題解決に取り組む資質を備えることを目指した。

1-2　研修参加者

上記の目的に鑑み、本研修の参加対象者は、開発途上地域における環境 NGO の活動への参加に関心を有する者で、以下に示す応募要件を満たすことを条件とした。

(1)　心身ともに健康であること。
(2)　過去に地球環境基金の「海外派遣研修」を受講したことがないこと。
(3)　日本語でのコミュニケーションに支障がないこと。
(4)　18 歳以上であること。
(5)　一時的な短期滞在者でないこと。（注）

（注）一時的な短期滞在者とは、外国人登録をしていない者、過去１年間日本に滞在していない者、１年以内に日本を離れる可能性がある者とする。

参加者の公募は、2008 年 6 月 6 日（金）から約 1 ヶ月間、環境再生保全機構のホームページ上や NGO を含む民間団体等への募集要項の送付等により行った。94 名の応募者のうち、選考により 7 名の研修生に決定した（表 1-2-1）。

募集案内

表 1-2-1　研修参加者

研修生氏名	ふりがな	所属
総合コース		
天野　恵美子	あまの　えみこ	恵泉女学園大学人間社会学部国際社会学科
市村　美佳子	いちむら　みかこ	京都大学公共政策大学院
河野　幸子	かわの　さちこ	立命館大学経済学部経済学科
川畑　斉大郎	かわばた　せいたろう	関西学院大学総合政策学部総合政策学科
木村　愛里	きむら　えり	大阪大学外国語学部国際文化学科国際関係専攻
工藤　裕章	くどう　ひろゆき	東海大学大学院人間環境学研究科人間環境学専攻
小杉　優輝	こすぎ　ゆうき	麻布大学環境保健学部環境政策学科

1-3　研修日程および概要

2008 年 7 月 25 日（金）から 26 日（土）に環境再生保全機構（ERCA）および環境修復保全機構（ERECON）にて事前研修会を行いタイ・カンボジアの基礎情報や実習・視察予定先の概要の説明を行った。また、研修内容に係る分野の大学教授等による講師 4 名による講義（表 1-3-1）を行うとともに、講師による研修生の研修テーマを決めるための個別相談会を行った。また、体験実習に必要な技術的指導として、堆肥づくり・ペレット堆肥づくりにも取り組んだ。総合コースについては 2008 年 8 月 21 日（木）から 9 月 15 日（月）までタイ・カンボジアにおいて環境保全の分野で活動する NGO の現場において実習を行った（就業との両立が可能になるよう期間を短縮し 8 月 21 日（木）から 8 月 31 日（日）までの集約コースを設けたが、今回は該当者がなかった）。また、NGO や地域住民グループの取り組み等を視察し、関係者との意見交換も行った（表 1-3-2、表 1-3-3、表 1-3-4）。本研修期間中にはタイとカンボジアの各国で一回ずつ中間報告会を設け、それまでの行程の振り返りを行い、研修生および随行員による意見交換や現地において発見した事象についての議論を行った。

牧田教授による講義

ペレット堆肥づくりの技術的指導

事前研修の様子

第一回中間報告会（コンケン大学、タイ東北部コンケン県）

第二回中間報告会（ソヴァンアンコールホテル、カンボジア北西部シェムリアップ州）

中間報告会の様子

表 1-3-1　事前研修講義内容（講義発表順）

講師名	講義名
倉島　孝行／ERECON 国際環境協力専門家（海外派遣研修随行員）	タイ農村域の土地利用：現在と変遷の過程
板垣　啓四郎／東京農業大学国際食料情報学部教授	タイ・カンボジアの農村からみえる環境問題について
牧田　東一／桜美林大学国際学部教授	国際協力をおこなう心構えについて
三原　真智人／ERECON 代表理事・東京農業大学地域環境科学部教授	NGO プログラムにおける住民参加の意義について

表 1-3-2　研修日程

月日	行動/研修内容	宿泊
8 月 21 日（木）	・成田空港集合 ・成田空港より空路タイ王国バンコクへ移動	バンコク
8 月 22 日（金）	・環境修復保全機構（ERECON）東南アジア事務局にてオリエンテーションおよび現地活動事務作業（活動準備） ・バンコクよりパクチョンに陸路移動	パクチョン
8 月 23 日（土）	・カオヤイ国立公園視察	パクチョン

8 月 24 日 （日）	・パクチョンからコンケンに移動 ・カセサート大学有機農産物販売所視察 ・体験実習および農家ステイのオリエンテーションと準備	コンケン市内
8 月 25 日 （月）	・ノンパイ有機農業グループ活動実践（体験実習） ・農産物加工女性グループ視察	農家
8 月 26 日 （火）	・ノンパイ有機農業グループ活動実践（体験実習） ・小学校教員による有機農業推進活動視察 ・ノントゥンモン環境保全グループ活動視察	農家
8 月 27 日 （水）	・ノンパイ有機農業グループ活動実践（体験実習）	農家
8 月 28 日 （木）	・ノンパイ有機農業グループ活動実践（体験実習） ・メコン河視察	農家
8 月 29 日 （金）	・ノンパイ有機農業グループ活動実践（体験実習） ・ノンパイ村において研修参加者と農家によるワークショップ開催 ・資料まとめ等	農家
8 月 30 日 （土）	・中間報告会 ・コンケンからバンコクに陸路移動	バンコク
8 月 31 日 （日）	（総合コース） ・バンコクからカンボジア王国プノンペンへ空路移動 ・トゥール・スレン収容所視察 ・プノンペン市内視察（車窓から）	プノンペン市内
	（集約コース） ・日本（成田）に帰国 ・9 月 1 日早朝成田着後解散	
9 月 1 日 （月）	・JICA カンボジア事務所訪問 ・JVC カンボジア技術学校視察	プノンペン市内
9 月 2 日 （火）	・ダンコール小学校における有機農業の取組み実践 ・資料まとめ等	プノンペン市内
9 月 3 日 （水）	・プレイ・サール小学校における有機農業の取組み実践 ・プレイ・ベン小学校における有機農業の取組み実践 ・キリング・フィールド視察 ・資料まとめ等	プノンペン市内

9 月 4 日 （木）	・ワチャ村有機農業推進活動視察 ・ワチャ村周辺域小学校における有機農業の取組み実践 ・コンポントム市へ移動	コンポントム市内
9 月 5 日 （金）	・コンポントム市よりシェムリアップ市へ陸路移動 ・アンコールワット遺跡修復保護活動視察	シェムリアップ市内
9 月 6 日 （土）	・中間報告会 ・資料まとめ等	シェムリアップ市内
9 月 7 日 （日）	・シェムリアップ空港からタイ国へ空路移動 ・タイ国プーケットへ空路移動 ・パンガに移動	パンガ
9 月 8 日 （月）	・津波被災地視察 ・ホームステイのオリエンテーションと準備	パンガ
9 月 9 日 （火）	・トゥンナンダム島へ航路移動（1 時間） ・トゥンナンダム島島内散策 ・トゥンナンダム植林活動グループ活動視察 ・トゥンラック村に移動	トゥンラック
9 月 10 日 （水）	・トゥンラック植林活動グループ活動実践	トゥンラック
9 月 11 日 （木）	・トゥンラック植林活動グループ活動実践 ・パンガへ移動	パンガ
9 月 12 日 （金）	・バンコクへ陸路移動（12 時間）	バンコク
9 月 13 日 （土）	・有機農法による稲作農家視察（スパンブリ県）	バンコク
9 月 14 日 （日）	・ERECON 東南アジア事務局にて現地活動事務作業および現地活動総括 ・空路日本へ帰国	機内
9 月 15 日 （月）	・成田着後解散	

表 1-3-3　研修概要

研修受け入れ先 ＜環境問題を考察する上での参考視点＞	研修概要
環境修復保全機構（ERECON）東南アジア事務局 ＜環境保全･環境教育･NGO活動＞ タイ	（研修初日） ・研修オリエンテーション ・ERECON による地球環境基金助成金活動の紹介 ・現地活動資料準備（ファイリング） ・現地活動物品準備 ・タイ語会話学習 （研修最終日） ・資料整理 ・清掃 ・研修ふりかえり ・研修総括
カオヤイ国立公園 ＜環境保全・自然全般＞ タイ	･研修地の位置するタイ東北部にある自然環境へ理解を促すための国立公園の視察 ・野生生物観察 ・国立公園についての講義
ノンパイ有機農業グループ ＜農業一般・農村開発・異文化理解・交流＞ タイ	・ERECON の活動農村であるタイ東北部コンケン県ノンパイ村有機農業グループメンバーの家への農家ステイ ・有機農業普及活動の体験実習（ワークショップ補助等） ・有機農業普及活動の体験実習（ノンパイ村ドゥシットプラチャサン小学校における研修生主催･運営によるネイチャーゲーム実践ワークショップ開催）
農産物加工女性グループ ＜農村開発・伝統文化の保全＞ タイ	・農産物加工女性グループ「Prae-Pan」による物品販売店視察 ・グループメンバーとの意見交換 ・農産物加工女性グループ「Prae-Pan」活動参加機織り農家視察
小学校教員による有機農業推進活動 ＜環境教育＞ タイ	・ERECON による環境教育の実施校であるノンパイ村ドゥシットプラチャサン小学校における食農環境教育セミナー見学 ・ドゥシットプラチャサン小学校有機菜園視察 ・ホアイムアン小学校有機菜園視察

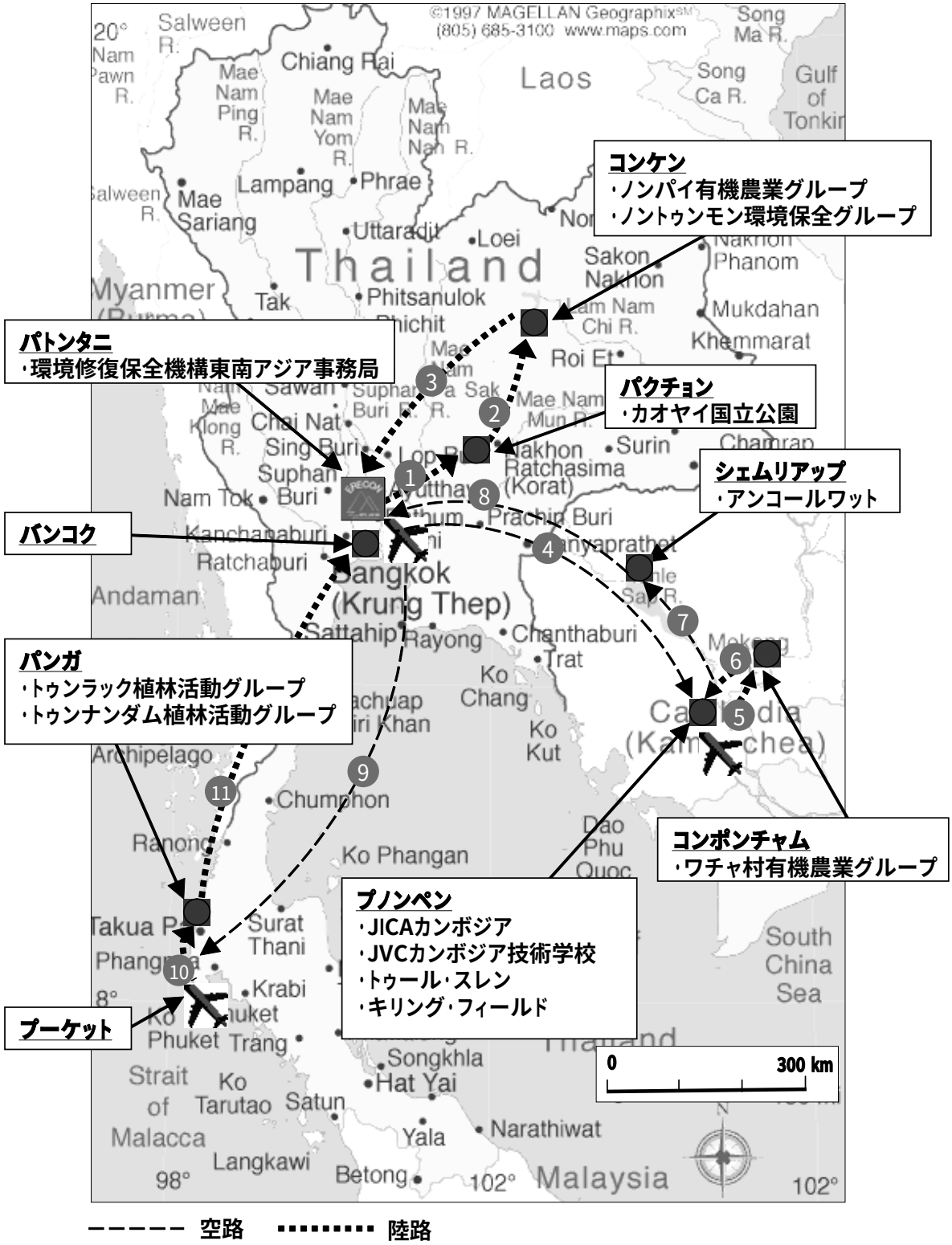
ノントゥンモン環境保全グループ ＜環境保全・環境修復・農村開発＞ **タイ**	・ERECON の活動農村であるタイ東北部コンケン県ノントゥンモン村視察 ・グループメンバーとの意見交換 ・塩害地視察 ・土壌断面調査実践
トゥール・スレン収容所／キリング・フィールド視察 ＜社会理解＞ **カンボジア**	・研修地であるカンボジア現代社会史の理解を深めるための視察
JICA カンボジア事務所 ＜国際協力・行政の視点と取り組み＞ **カンボジア**	・カンボジアにおける 40 年以上にわたった国際協力活動の実績を持つ JICA カンボジア事務所視察 ・JICA カンボジア事業についての講義 ・JICA カンボジア農業支援についての講義 ・JICA カンボジア職員との意見交換
JVC カンボジア技術学校 ＜人材育成・NGO の視点と取り組み＞ **カンボジア**	・JVC による人材育成活動である JVC 技術学校新校舎視察 ・1980 年代より展開している JVC の自立支援を中心とした活動講義 ・JVC カンボジア現地代表との意見交換 ・JVC による地球環境基金助成活動の紹介
小学校における有機農業の取り組み ＜環境教育＞ **カンボジア**	・ERECON による環境教育の実施校である小学校における食農環境教育セミナーにおける有機農業の取り組み視察（ダンコール小学校、プレイ・サール小学校、プレイ・ベン小学校） ・有機農業ワークショップ参加（研修生運営によるネイチャーゲーム実践） ・小学生による堆肥づくり視察
ワチャ村有機農業推進活動 ＜農業一般・農村開発・環境教育＞ **カンボジア**	・ERECON の活動農村であるカンボジア東部コンポンチャム州プレイ・チョール地区ワチャ村現地農家グループ活動視察 ・ワチャ村現地農家グループへの聞き取り調査 ・ワチャ村有機菜園視察 ・ワチャ村周辺域小学校における有機農業の取り組み視察（ロンコール小学校、トロパン・ベイ小学校）
アンコールワット遺跡修復保護活動 ＜人材育成・伝統文化の保全＞ **カンボジア**	・カンボジア北西部シェムリアップ州において長期的に現地に根ざした人材育成活動を行っている上智大学アジア人材養成研究センターの視察 ・上智大学アジア人材養成研究センターにおける活動を展示した「シハヌーク・イオン博物館」の視察

トゥンナンダム植林活動グループ／トゥンラック植林活動グループ ＜環境保全・環境修復・異文化理解・交流＞ **タイ**	・ERECON の活動地であるタイ南部パンガ県トゥンナンダム島における植林活動視察 ・トゥンナンダム植林活動グループとの意見交換 ・タイ南部パンガ県トゥンラック村におけるホームステイ ・トゥンラック植林活動グループの活動視察 ・トゥンラック植林活動グループメンバーとの植林準備実践
有機農法による稲作農家 ＜農業一般・農村開発・商業的有機農業＞ **タイ**	・タワンサク教授（カセサート大学農学部）引率による有機農法による稲作農家視察（中部スパンブリ県バンプラマー地区バンヤイ村） ・タイ王国カセサート大学タワンサク教授引率による有機農法による野菜農家視察（中部ノンタブリ県） ・農家との意見交換

表 1-3-4　訪問先リスト

訪問先	住所
ERECON 東南アジア事務局	In Association of Environmental and Rural Development, 93/64 Moo.3 Sinsab village, Bungyeetho sub-district, Thanyaburi district, Pathum Thani 12130, Thailand
カオヤイ国立公園	Pak Chong, Nakon Ratchasima province, Thailand
農産物加工女性グループ「Prae-Pan」	Prae-Pan’s Office and Shop, 131/193 Chatapadung Rd., Amphur Muang, Khon Kaen, 40000 Thailand
JICA カンボジア事務所	House No448AEO, Mooving Bivd, samgkat Tonle Bassac, Khan Chamkarmon, Phonom Penh, Cambodia
JVC カンボジア技術学校	National Road No.5, Doem Kor Village, Chroy Chang Var, Russey Keo district, Phnom Penh, Cambodia
アンコールワット遺跡修復保護活動 「上智大学アジア人材養成研究センター」	Sophia Asia Center for Research and Human Development, Siem Reap, Cambodia

〈研修同行者〉

独立行政法人環境再生保全機構　地球環境基金部	勝又　麻祐子（8 月 21 日～9 月 1 日）
〃	長倉　恵美子（8 月 31 日～9 月 15 日）
特定非営利活動法人環境修復保全機構	石山　千佳（8 月 21 日～9 月 15 日）
〃	倉島　孝行（8 月 21 日～9 月 1 日）
〃	上野　貴司（8 月 22 日～30 日）
〃	山田　裕史（8 月 31 日～9 月 7 日、9 月 14 日～15 日）

視察地位置図（タイ・カンボジア）